

西山地区

コミュニティ協議会だより

【(西風) 令和7年度8月号

発行：西山地区コミュニティ協議会

会長 中村 史傳

編集 中村美也子

令和7年8月 5日発行

薩摩川内市下飯町瀬々野浦 1194

TEL 09969-5-0122

FAX 09969-5-0355

8月～9月前半の行事予定

8/3 (日) 道路愛護活動

8/17 (日) 高齢者サロン

8/17 (日) 地域内清掃

8/19 (火) 指定管理選定委員会

9/14 (日) 敬老会

ウマホイホイ → →

(ハマナタマメの花)



自治会・コミ協活動

西山小草刈

7/6 (日) 晴天の中 地域の皆さん お疲れさまでした。きれいになりました。



助八古道の整備



7/16 助八古道 (旧青瀬道) の整備を行いました。
整備が終わる直前に雨になり参加者はびしょり。
一回目の整備 無事終了しました。皆さんも
散策がてら山道歩きをしてみてください。



ゴールド集落自主活動

7/26 (土) にゴールド集落自主活動が行われました。西山のあちこちが見違えるほど
スッキリきれいになりました



健康体操



7/16（水） 健康体操前に血圧測定がありました。
体操の後美味しい横川道子さんの手作りスイーツ
台湾カステラを頂きました。
食べながら保健師から熱中症対策についてのお話がありました

イワヒー（ニシノハマカンゾウ）の花⇒



グランドゴルフ大会

7/27（日）に緑地公園でグランドゴルフ大会が行われました。西山からは2チーム参加しとても楽しめました。初めてグランドゴルフを経験しましたがなかなか思い通りにはいかず はがゆかったです。反面入った時の嬉しさが心地よかったです。待ち時間や暑さで体力を奪われながらも年齢に関係なく楽しめる競技だと思いました。一度皆さんもやってみましょう 勝負に負けたくない血液型B型の方には向いてる競技だと思います。

中村美也子



故郷を探る②

戦争が終わった昭和二十年八月

今年は昭和百年。そして「アジア・太平洋戦争」が終わって八十年。八月十五日正午の昭和天皇のラジオ放送によって国民の多くが日本の敗戦を知りました。（ソ連はまだ戦争を終わらせず九月上旬まで続けています。）

瀬々野浦の人達が戦争を実際に体験したのは、七月二十八日突如わがシンヌウラは四機の米軍艦載機による機銃掃射を受けました。小学校の校庭にあった鉄パイプの鉄棒に穴があいていたのは機銃掃射の跡だといわれました。この日、二人の負傷者があり、一人は片腕を失い、一人は脚を機銃弾が貫通したそうです。この日の飛来コースはハイケ壇から甲釣川にそい、向井川で水浴びをしている子供たちの頭上をかすめ黒瀬鷹ノ巣上空から西方へと飛来したと言われます。搭乗員の顔が見えるほどの超低空だったという人もいました。昭和ひと桁・十年代生まれの人達に聞いた話です。

八月十五日に瀬々野浦の人達はラジオ放送を聞かず（当時の電力供給は夜間のみです）村役場からも特段の通知もなかったようです。十六日になって区長であった祖父でさえ「戦争が終わったという噂を聞く」と記すしかありませんでした。二十四日になって長浜駐在所の巡査が来西され、お寺に区民を集めてそこで戦争に敗けたことが告げられた、とあります。負けた悔しさに悲憤慷慨する者、泣く者、安堵の表情の者もあったと記しています。

故山下峯生さんが機漕ぎの手伝いをして片野浦まで乗せていって村役場の用事から帰った婦人二人から今の孤島の野犬像の辺りに陸軍の部隊があり兵隊さんが口々に「戦争に敗けた、戦争にまけた」と言って書類を燃やしていたと話される。峯生さんが帰って父上に話すと「ほげんこという者はスパイといわれるが。ほげんことども外で言うもんじゃなか」とこっぴどく叱られたと語っておられた。

中村史傳

お詫び：コミヨリだより 7月号に記載しましたペタング大会で準優勝したのは宮野藏郎さん・大熊定男さん・中村麗子さんのチームでした。申し訳ありませんでした。改めて準優勝おめでとうございます。